

# 瀬戸内国際芸術祭プレミアムツアー2023

ツアーのご案内

# 瀬戸内国際芸術祭プレミアムツアー2023

※都合により、旅程の一部が変更になる場合があります。

## 概要

本ツアーは、3年に一度開催される「瀬戸内国際芸術祭」の開催地を舞台に、国内外で人気の高い直島の地中美術館や島々の作品を“貸し切り”で鑑賞。豊島の食材を中心とした有名シェフによるランチ、瀬戸内の多島美を堪能するサロンシップでのクルーズなどを盛り込んだ、初めてのラグジュアリー・アートツアーです。総合ディレクターの北川フラム氏による解説付きなので、アートファンはもちろん、「瀬戸内国際芸術祭」は初めてという方も、ここでしか味わえない極上のアートなひとときをお楽しみください。



## 概要

開催日：【ツアー①】 2023年9月11日(月)-13日(水) (2泊3日)

【ツアー②】 2023年11月20日(月)-22日(水) (2泊3日)

【ツアー③】 2023年11月27日(月)-29日(水) (2泊3日)

旅行代金：【ツアー①③】 大人1人 250,000 円(税込)

【ツアー②】 大人1人 300,000 円(税込) ※全室スイートルーム仕様

離発着港：高松港・県営高松第二棧橋(香川県高松市サンポート8-1)

定員：各12人(最小催行人数6人)

料金に含まれるもの：旅程表に明示した食事(朝2、昼3、夜2)、宿泊費(2泊)、移動手段(チャーター船、バスetc)、ガイド、美術館入館料、体験メニュー、その他サービス料及び消費税

代金に含まれないもの：出発地まで及び解散地からの交通費、その他、お客様の希望による旅程変更にかかる追加料金等

その他：●お宿について

客室はすべて2名1室になります。1名1室をご希望の場合は、お申し込み時にご相談ください(追加料金が1泊につき50,000円かかります)。

●お食事について

アレルギーなどお食事の希望があれば可能な範囲で対応いたします。お申込み時にご相談ください。

共同企画：瀬戸内国際芸術祭実行委員会

販売：西讃観光株式会社(香川県知事登録旅行業第2-185号) TEL. 0875-25-1200

お問合せ：株式会社

コンシェルジュデスク 03-4567-6042

セトウチシーウインド (営業時間9:00-19:00/土日祝・年末年始を除く)

Email info@setouchiseawind.jp

西讃観光株式会社 0875-25-1200



HPはこちら

## 旅程案

Day1 直島をめぐる	Day2 豊島をめぐる	Day3 島クルージング
10:00 高松港 発 11:00 直島 着 【作品鑑賞】 ・海の駅「なおしま」 ・赤かぼちゃ 12:00 昼食@ベネッセハウス 【作品鑑賞】 ・ベネッセハウス ミュージアム ・地中美術館 ・李禹煥美術館 ・ヴァレーギャラリー ・家プロジェクト 16:50 ホテルチェックイン ・ナイトプログラム ・夕食	9:00 直島 発 9:30 豊島 着 【作品鑑賞】 ・豊島美術館 10:45 【ACTIVITY-01】 北川フラム氏(「瀬戸内国際芸術祭」総合ディレクター)による特別レクチャー 12:00 昼食@島キッチン 【作品鑑賞】 ・心臓音のアーカイブ ・豊島横尾館 ・針工場 など 16:30 豊島 発 17:00 直島 着 【作品鑑賞】 ・南瓜 など 17:30 ベネッセハウス 着 夕食	9:00 直島 発 9:30 男木島 着 【作品鑑賞】 ・男木島の魂 ・アキノリウム など 10:30 【ACTIVITY-02】 「瀬戸内国際芸術祭」参加アーティストによるワークショップ 11:30 男木島 発 12:00 女木島 着 【作品鑑賞】 ・カモメの駐車場 ・女木島名画座 ・不在の存在 など 13:00 女木島 発 【ACTIVITY-03】 ランチクルーズ 16:00 高松港 着

## お宿(2泊とも同室)

### ベネッセハウス

<https://www.benesse-artsite.jp/>

自然とアートを心ゆくまで楽しめる「美術館に泊まれる」ホテルです。建築はすべて安藤忠雄の設計、宿泊者限定の鑑賞メニューもあり、24時間アートに浸りながら過ごすことができます。



iaru Obayashi

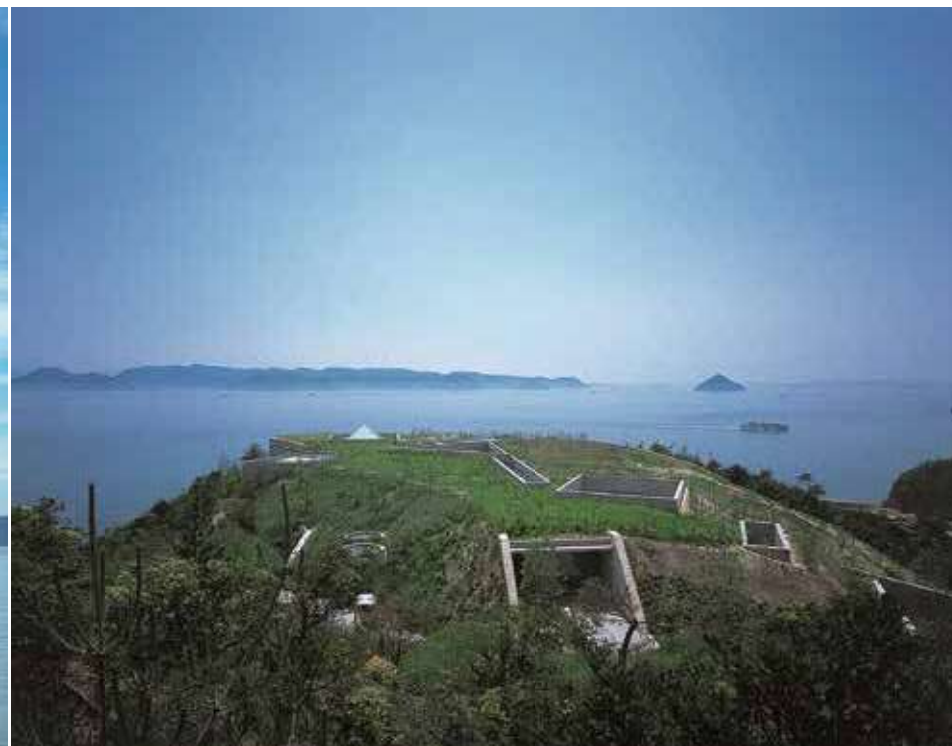


Benesse House Photo: Tadasu Yamamoto

# Day1



「南瓜」早間彌生 2022年 ©YAYOI KUSAMA Photo:Tadasu Yamamoto



Chichu Art Museum Photo:FUJITSUKA Mitsumasa

## 【見どころ】

- 「地中美術館」「豊島美術館」ほか、ベネッセアートサイト直島や瀬戸内国際芸術祭のアート作品を、ほぼ「貸し切り」で鑑賞。ベネッセハウススタッフや芸術祭ボランティアのこえび隊が、見どころをわかりやすくガイドします。
- なかなか予約が取れない人気の「ベネッセハウス」で2連泊。宿泊者限定プログラムもあり、24時間心ゆくまでアートに浸れます。



KAZUYO SEJIMA + RYUE NISHIZAWA / SANAA " Marine Station "Naoshima"

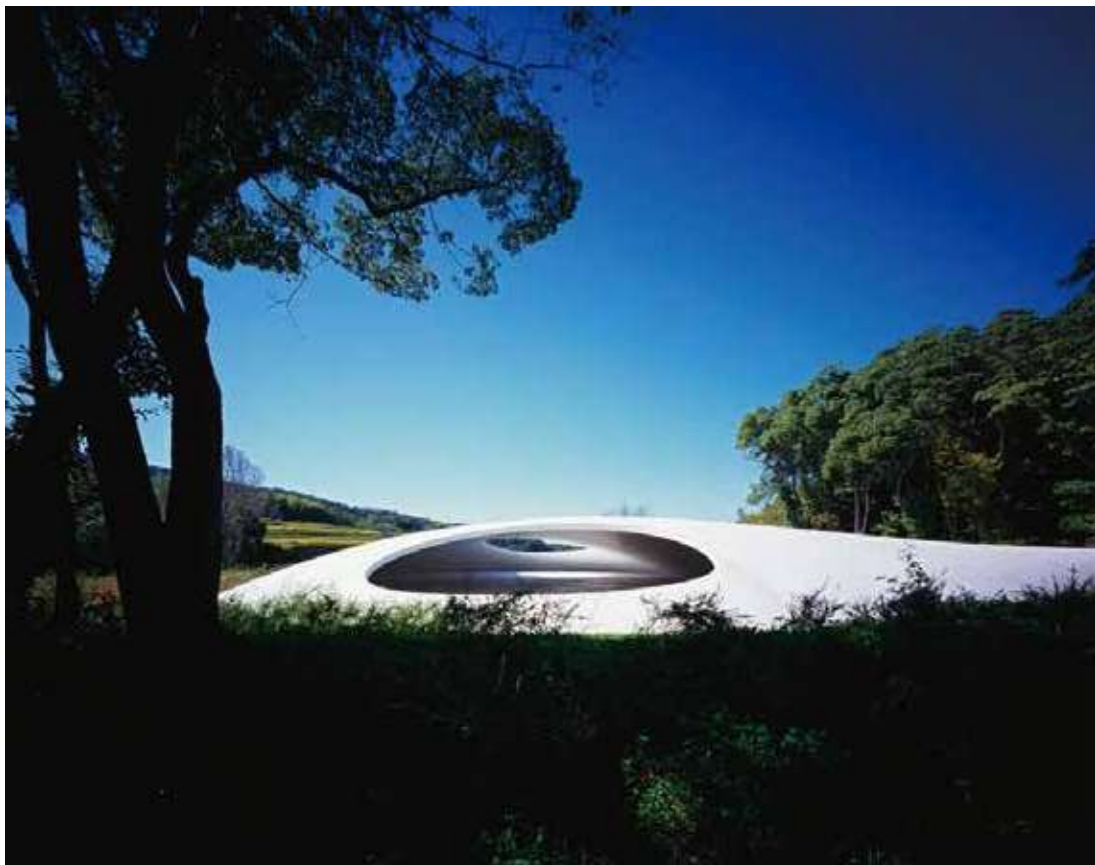


Art House Project "Kadoya" Photo: Norihiro Ueno

## 旅のヒント★「ベネッセアートサイト直島」

直島・豊島(香川県)、犬島(岡山県)を舞台に(株)ベネッセホールディングスと(公財)福武財団が展開しているアート活動の総称。サイトスペシフィックアートー瀬戸内海の風景の中、ひとつの場所に時間をかけてアートをつくりあげ、島々の自然や地域固有の文化の中に現代アートや建築を置くことによって、どこにもない特別な場所を生み出しています。

# Day2



Teshima Art Museum Photo: Ken'ichi Suzuki

## 【見どころ】

- 本ツアー参加者のためだけに、北川フラム氏(瀬戸内国際芸術祭総合ディレクター)が特別レクチャーを行います。
- ランチは作品の一つ「島キッチン」にて、丸ノ内ホテル山口総料理長らによる特別ランチコースをご用意します。



Shima Kitchen Photo: Osamu Nakamura



Photo\_Kimito Takahashi



(料理はイメージです)

## 北川フラム アートディレクター・アートフロントギャラリー主宰

<https://www.artfront.co.jp/jp/>

1946年、新潟県高田市(現上越市)生まれ。東京芸術大学卒業。主なプロデュースとして、ガウディブームの下地をつくった「アントニオ・ガウディ展」、全国80校で開催された「子どものための版画展」、全国194カ所で38万人が訪れた「アパルトヘイト否!国際美術展」、米軍基地跡地を文化の街に変えた「ファーレ立川アートプロジェクト」(1994)など。アートによる地域づくりの実践として「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」(2000～)、「瀬戸内国際芸術祭」(2010～)などで総合ディレクターを務める。主な受賞に17年度朝日賞、18年度文化功労者、19年イーハトーブ賞などがある。



PHOTO: Mao Yamamoto

## 旅のヒント★「瀬戸内国際芸術祭」

香川・岡山の両県にまたがる瀬戸内海の島々と沿岸地域を舞台に、3年に一度開催される現代美術の国際芸術祭。2010年にスタートし、毎回国内外から約100万人が来場。今では日本を代表するアートイベントとなっています。次回開催は2025年の予定です。

# Day3



Jaume Plensa "Ogijima's Soul" Photo:Osamu Nakamura



Takahito Kimura "Sea Gulls Parking Lot" Photo:Osamu Nakamura

## 【見どころ】

- 「瀬戸内国際芸術祭」参加アーティスト、EAT&ART TAROによるワークショップを開催。
- 58ftのラグジュアリークルーザーによるランチクルーズで、瀬戸内海の多島美を堪能ください。



## 旅のヒント★「瀬戸内海」

本州と四国、九州のあいだに広がる日本最大の内海。東西450km、南北15-55 kmの細長い海で、面積は四国とほぼ同じ(23,203km<sup>2</sup>)。古来より、国内外と畿内をつなぐ海の道として栄えました。727の島が浮かぶ多島美でも知られ、1934年、日本初の国立公園に指定されました。